

観察のためのワークショップ

『見ること』



《KENCHIKU_02》2021年 W60 x D80 x H200mm アクリル、UVプリント

八木夕菜 / YUNA YAGI

前編「見ること」 2021. 9 .25 Sat → 2021.10.17 Sun

後編「見るの考察」 2021.10.17 Sun → 2021.11.14 Sun

京都府立 京都学・歴彩館
Kyoto Institute, Library and Archives

観察のためのワークショップ

『見ること』

「見る」という行為に着眼し、まなざしの多様性について考察する連続講座

前編 「見ること」 2021.10.17 sun. 13:30 - 15:00

先入観や思い込みのない眼差しで物事を観察する方法と、その多様性を学びます。

先人の芸術家、講師作品等を教材に用いて、他者の観察眼を学ぶ〈講義〉と、講師が用意した対象物を観察し、気づきや発見をグループで発表する〈グループワーク〉を行います。

後編 「見るの考察」 2021.11.14 sun. 13:30 - 15:00

前編受講者が対象となります。前編受講後の観察眼の変化について記録物を持ち寄り、講師と共に考察します。

記録物の形態は特に問いません。日記等を書き記したもの、スマートフォンで撮影した日常の一コマ等、何でも思いつくものをお持ち下さい。

※前編受講後に作品を制作された参加者は可能な範囲でお持ち下さい。



《曲_01》2021年 W462 x D100 x H150 mm / 銅、UV プリント

時間 各回13:30-15:00
会場 京都府立京都学・歴彩館 小ホール
料金 各回500円(後編のみの参加は不可)
対象 高校生以上
定員 50名
講師 八木 夕菜
主催 京都府立京都学・歴彩館指定管理者
「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」
共催 京都府立京都学・歴彩館



©Jukan Tateisi

八木夕菜 / YUNA YAGI
ビジュアル コンポジット アーティスト

2004年、ニューヨーク・パーソンズ美術大学建築学部卒業。
カナダ、ニューヨーク、ベルリンを経て、現在は京都を拠点に活動。
視覚と現象を用い、「見る」という行為の体験を通して物事の真理
を追求した作品制作やインスタレーションを国内外で発表。

主な受賞歴

「KYOTOGRAPHIE京都国際写真祭」ポートフォリオ・レビュー
最優秀 ハッセルブラッド賞(2016)
パリ国際現代写真アートフェア「FOTOFEVER」招待作家(2017)
Eberhaard Awardsノミネート(2019)
「写真の町 東川賞」新人賞ノミネート(2019)
DESIGNART BIG EMOTIONS AWARDS受賞(2019) 等

【お申込み方法】

以下のいずれかの方法でお申込みいただけます。

- ・京都学・歴彩館ホームページ
(<https://rekisaikan.jp/>)
- ・お電話(075-723-4831) ※開館時間内のみ受付

お申込みの際、①～④の内容をお伝えください。

- ①参加希望回 ※「全編」または「前編のみ」
- ②氏名(複数人の場合は要全員分氏名)
- ③年齢
- ④電話番号

※申し込み締切日は開催日の前日17時まで。

京都府立 京都学・歴彩館

Kyoto Institute, Library and Archives

〒606-0823
京都府京都市左京区下鴨半木町1-29
電話 (075)723-4831

【電車】

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車
(①出口)南へ徒歩約4分

【バス】

京都市バス1系統、206系統「府立大学前」
(北大路通)下車 北へ徒歩約6分

館内では新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。マスクの着用と入館時の検温、アルコール消毒にご協力ください。※37.5度以上の方は入館をお断りします。(その他、主催者の判断により入館をお断りする場合がございます。)



ワークショップ
『見ること』
お申込みフォームへ

